

消化器外科・乳腺外科 研修で経験が望ましい項目 (minimum requirement)

	<手術>	日付	回数
A	上級医の術前説明への立ち会い		
A	上級医の指導のもと、術前説明を行うことができる		
A	術中に基本的な解剖構造（動脈・静脈・神経等）を説明できる		
A	手術野の消毒を行うことができる		
B	局所麻酔を行うことができる		
A	術中に縫合・結紮を行った（皮膚縫合を含む）		
A	小手術を行った（虫垂切除、鼠経ヘルニア手術、乳腺腫瘍摘出術、皮膚（皮下）腫瘍摘出術、気管切開術など）		
A	鏡視下手術の助手として内視鏡操作を行った		
A	緊急手術症例の担当医となり手術に参加した		
A	上級医の指導のもと病理検体の処理を適正に行うことができる		
	<病棟・外来>		
A	入院時身体診察を系統的に実施できる		
A	採血および静脈路を確保できる		
B	術前・術後の検査を計画しオーダーできる		
B	術後の輸液療法を計画しオーダーできる		
B	術後合併症の診断を行い、治療計画を立案できる		
A	各種画像検査の所見を述べ診断できる		
A	マンモグラフィー検査の所見を述べ診断できる		
A	腹部・乳腺エコー検査を行うことができる		
C	乳腺の穿刺吸引細胞診や針生検の支援ができる		
A	上部/下部消化管内視鏡検査を施行または支援できる		
A	中心静脈カテーテル（CVC）を挿入できる（PICCカテーテル・CVポート埋め込みを含む）		
C	CVC研修会を受講して修了証を取得した		
A	胃管またはイレウス管を挿入し、管理できる		
A	胸腔穿刺・腹腔穿刺・腹部ドレーン交換を行うことができる		
A	経腸栄養の管理を行うことができる		
A	人工呼吸器を用いた呼吸管理を行うことができる		
C	ICUにおける集中治療管理を計画することができる		

	<医療面接・医療記録・カンファレンス>		
A	入院時医療面接を実施してカルテに記載した		
A	外科的処置の必要性とその合併症について患者・家族に説明できる		
A	入院総括を記載し、文書管理できる		
A	紹介状、紹介状返事、他科への診療依頼を記載した		
A	検討会で担当症例の術前・術後のプレゼンテーションを行うことができる		
A	カンサーボードに参加し、担当症例のプレゼンテーションを行うことができる		
A	がんゲノム医療のエキスパートパネルに参加した		
B	学生臨床実習のミニレクチャーや総括に参加した		
B	新潟県内で開催される研究会に参加した		
C	全国で開催される学術集会に参加した		

- A 4週間で経験することが望ましい
- B 8週間で経験することが望ましい
- C 12週間で経験することが望ましい